

皆様、ご苦労様でした。本日は地震に対して自分の身・周囲の安全にも配慮しながら避難するための訓練でした。避難時間は5分3秒で、とても整然とした中で行うことができました。

さて、昨年度、避難訓練を3回実施しました。その時の講評の内容を覚えていますか。

1回目のキーワードは「共助」でした。震度6弱のかなりの大きな地震であった長野北部地震では、日ごろからの「共助」の精神が浸透しており犠牲者がひとりもでませんでした。

2回目のキーワードは「想像」でした。農場で地震が起きたら、通学途上に地震が発生したらというもしもを想像する機会を持ってくださいという話をしました。

3回目のキーワードは「実践」でした。特に3年生は今後、ホテルで宿泊する機会は増加すると思います。宿泊先のホテルで火災発生したらどうすべきかということを想像して必ず避難経路を確認することをルーチンとしてくださいという話をしました。

今年度、1回目キーワードは「意識」です。

この数字を見てください。

1万人当たりの火災発生件数です。(全国3.4・島根4.5) 全国平均と島根県です。島根県が安全・安心な街でなければならぬのに火災の発生件数は割と多いのです。全国で3番目です(平成26年統計)。

内容は、たき火81件、火入れ42件等です。

島根県では火災は多いのだという意識を持ちましょう。

意識が変われば行動が変わる行動が変われば習慣が変わる一意識しましょう。